

令和2年度・内航タンカー船員実態調査報告書

令和3年4月16日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

はじめに	…	1
1. 回答状況	…	2
2. 年齢構成（乗・下船中の分類）	…	4
3. 年齢別船員数及び割合の推移（10年間）	…	5
4. 総トン数・船種別平均年齢（乗船中船員）	…	6
5. 職種別平均年齢（乗・下船船員の合計）	…	9
6. 入社歴及び前職	…	10
7. 採用・退職関係	…	13
8. 海技免状保有状況	…	16
9. 船舶料理士保有状況	…	16
10. 船員不足の考察	…	17
11. 船員対策委員会からの提言	…	18

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、関係者の理解促進に役立てることを目的に、毎年**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び下船中船員の年齢構成、採用・退職状況等を調査しています。(平成17年に調査開始)

令和2年度も、運送事業者(オペレーター)を経由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いいたしました。今年度も回収率を上げるべく、本部・支部事務局、対象事業者の協力を得て提出をお願いしましたが、本年度はコロナ禍において各社及び事務局の在宅勤務体制が通年に亘ったことも影響し、**回収率は72.8%(対象1,044隻の内、760隻の回答)**と、例年並みの回答を得ることが出来ませんでした。(前年79.6%)

回収率の内訳をみると、船型では**200G/T未満の小型船(回収率52.7%)の回収率が低く**、特に隻数が多い**油タンカー、特タン船の小型船の回収率**を上げていくことが、例年同様の課題であります。しかしながら、本年度はコロナ禍という特殊要因の中でも7割以上の回収率を確保し、概ね実態が反映される水準は保てたものと思われま

今回の調査から推計される船員総数は、**9,248名(前年度9,120名)**で前年比**128名増**となりました。これは、対象隻数が増えたこと(**1,029→1,044隻**)、**新卒採用**が引き続き好調なこと(**311名**)、**予備員率も堅調なこと(1.37)**などが直接的な原因であります。若年船員を船内で育てていこうという良い傾向は継続されているものと思われま

また、今回の調査による船員の**平均年齢は46.8才(前年度46.7才)**で、わずかですが平均年齢が上がりました。これは、各社の新卒者の採用増にもかかわらず、毎年増加してきた**若年世代割合が減少(20～25才未満割合9.6→9.0%)**したことで、**70歳以上の年齢層が増加(4.2→4.8%)**したことが一因ですが、このことは、若年層の退職者の増加や高齢船員への依存割合が高まっている可能性があり今後も注視が必要です。

また、このほかにも本報告書では、組合員各社からの貴重な実態を集計した上で、数多くの統計的データとしてまとめておりますので、是非、各社・グループの船員対策等にご活用下さい。

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員は、既に多数退職時期を迎えており、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このため、当委員会といたしましても、各種対策を実行することにより、組合員各社の船員問題への対応をサポートしていきたいと思っております。

最後になりますが、本調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に、改めて厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

1. 回答状況

(1)対象隻数 : 1,044隻

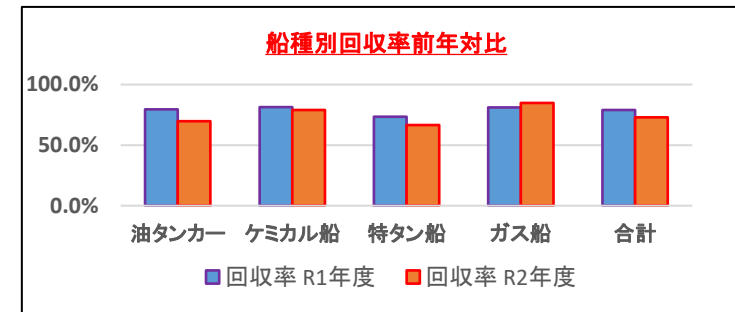
(2)回答隻数 : 760隻 (回収率:72.8%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率72.8%の内訳は下段表のとおり。(本年度は、油タンカー、特タン船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

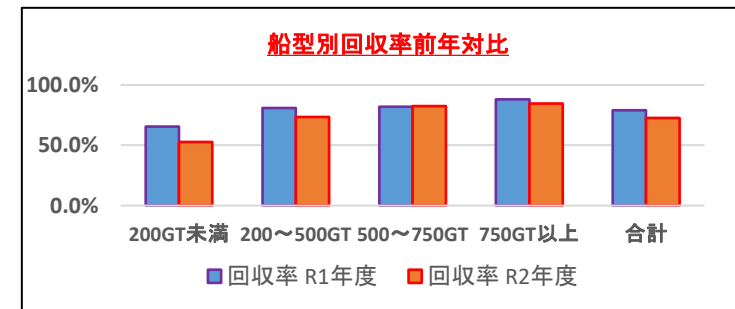
(3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
油タンカー	573	579	455	404	79.4%	69.8%
ケミカル船	188	191	153	151	81.4%	79.1%
特タン船	147	149	108	99	73.5%	66.4%
ガス船	121	125	98	106	81.0%	84.8%
合計	1,029	1,044	814	760	79.1%	72.8%



(4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
200GT未満	256	256	168	135	65.6%	52.7%
200～500GT	335	343	271	252	80.9%	73.5%
500～750GT	178	182	146	150	82.0%	82.4%
750GT以上	260	263	229	223	88.1%	84.8%
合計	1,029	1,044	814	760	79.1%	72.8%



(5)回答船員数

()は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,155名(7,517名) ①乗船中の船員数5,221名(5,449名) ②下船中の船員数1,934名(2,068名)

(6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

合計(乗船中・下船中)9,248名(9,120名) ①乗船中の船員数6,748名(6,611名) ②下船中の船員数2,500名(2,509名)

※ 前年度より推計船員数が128名多いのは、対象隻数の増加(+15隻)によるものと推計される。

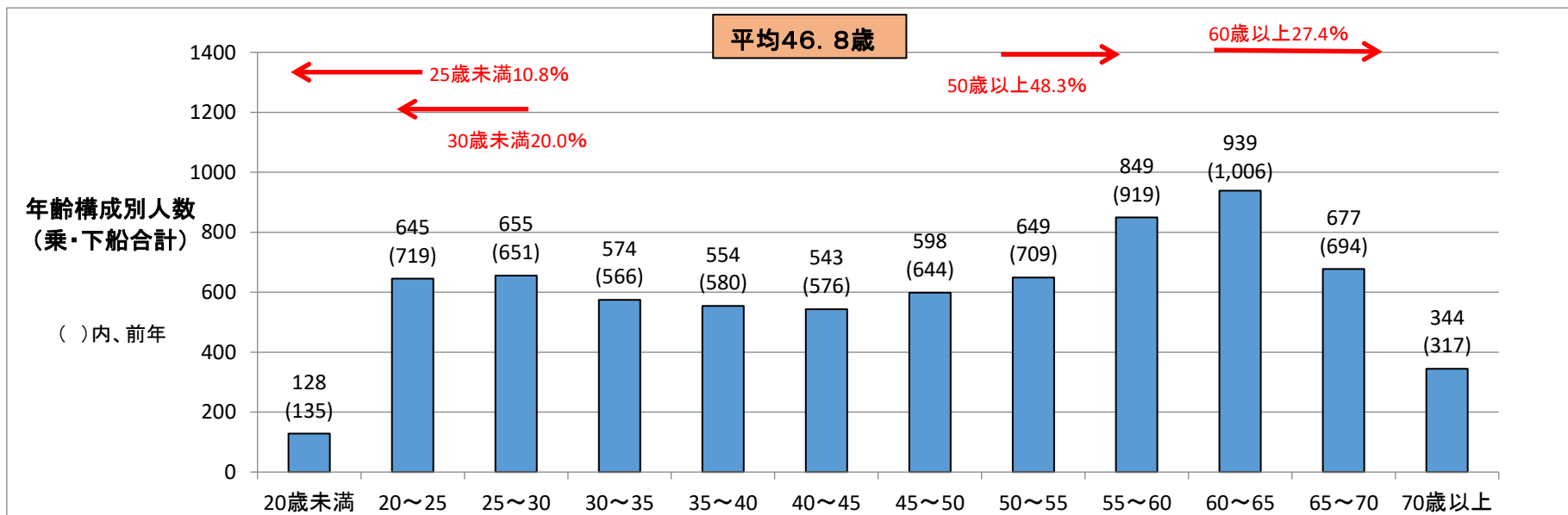
◎ 回答状況(詳細)

乗船中船員の集計	船種	船型区分 G/T	対象隻数 ①	回答隻数 ②	回収率 ③(②/①)	回答船員数 ④	平均乗員数 ④/②	推計船員数 ⑤(④/③)
	乗船中船員の集計	油タンカー	200未満	202	104	51.5%	357	3.4
～500未満			119	86	72.3%	446	5.2	617
～750未満			58	41	70.7%	286	7.0	405
～1000未満			44	36	81.8%	325	9.0	397
～1600未満			7	3	42.9%	29	9.7	68
～3000未満			28	24	85.7%	254	10.6	296
3000以上			121	110	90.9%	1,303	11.8	1,433
小計			579	404	69.8%	3,000	7.4	3,910
ケミカル船		200未満	3	1	33.3%	3	3.0	9
		～500未満	145	114	78.6%	626	5.5	796
		～750未満	37	31	83.8%	196	6.3	234
		～1000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		～1600未満	4	3	75.0%	34	11.3	45
		～3000未満	1	1	100.0%	9	9.0	9
		3000以上	1	1	100.0%	14	14.0	14
小計			191	151	79.1%	882	5.8	1,107
特ダシ船		200未満	51	30	58.8%	114	3.8	194
		～500未満	69	44	63.8%	218	5.0	342
		～750未満	24	20	83.3%	131	6.6	157
		～1000未満	3	3	100.0%	25	8.3	25
		～1600未満	1	1	100.0%	10	10.0	10
	～3000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	3000以上	1	1	100.0%	11	11.0	11	
小計		149	99	66.4%	509	5.1	739	
ガス船	200未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	～500未満	10	8	80.0%	43	5.4	54	
	～750未満	63	58	92.1%	389	6.7	423	
	～1000未満	31	24	77.4%	220	9.2	284	
	～1600未満	10	7	70.0%	68	9.7	97	
	～3000未満	7	6	85.7%	73	12.2	85	
	3000以上	4	3	75.0%	37	12.3	49	
小計		125	106	84.8%	830	7.8	992	
合計	200未満	256	135	52.7%	474	3.5	896	
	～500未満	343	252	73.5%	1,333	5.3	1,809	
	～750未満	182	150	82.4%	1,002	6.7	1,218	
	～1000未満	78	63	80.8%	570	9.0	706	
	～1600未満	22	14	63.6%	141	10.1	220	
	～3000未満	36	31	86.1%	336	10.8	391	
	3000以上	127	115	90.6%	1,365	11.9	1,508	
	合計		1,044	760	72.8%	5,221	6.9	6,748
下船中船員の集計						回答船員数 ⑥	予備員率 ⑦(⑥/④+1)	推計予備員数 ⑧(⑤×⑦-⑤)
						1,934	1.37	2,500
総合計 (⑤+⑧)				回答数計	7,155	推計船員数	9,248	

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70歳以上	計
乗船中	人数	81	468	490	424	421	413	434	477	613	701	463	236	5,221
	年齢計	1,519	10,333	13,206	13,562	15,611	17,362	20,384	24,819	35,007	43,419	30,851	17,067	243,140
	平均年齢	1,519	10,333	13,206	13,562	15,611	17,362	20,246	24,819	35,007	43,419	30,851	17,067	46.6
	比率	1.6%	9.0%	9.4%	8.1%	8.1%	7.9%	8.3%	9.1%	11.7%	13.4%	8.9%	4.5%	100%
下船中	人数	47	177	165	150	133	130	164	172	236	238	214	108	1,934
	年齢計	878	3,891	4,471	4,793	4,894	5,480	7,714	8,945	13,459	14,784	14,274	7,846	91,429
	平均年齢	18.7	22.0	27.1	32.0	36.8	42.2	47.0	52.0	57.0	62.1	66.7	72.6	47.3
	比率	2.4%	9.2%	8.5%	7.8%	6.9%	6.7%	8.5%	8.9%	12.2%	12.3%	11.1%	5.6%	100%
合計	人数	128	645	655	574	554	543	598	649	849	939	677	344	7,155
	年齢計	2,397	14,224	17,677	18,355	20,505	22,842	28,098	33,764	48,466	58,203	45,125	24,913	334,569
	平均年齢	18.7	22.1	27.0	32.0	37.0	42.1	47.0	52.0	57.1	62.0	66.7	72.4	46.8
	比率	1.8%	9.0%	9.2%	8.0%	7.7%	7.6%	8.4%	9.1%	11.9%	13.1%	9.5%	4.8%	100%
女性船員(上記の内数)	1	14	12	7	0	1	3	1	1	1	0	1	42	前年比3名減、平均年齢30.8歳、甲板職員17名(内、船長1名、一航4名)、甲板部員11名、機関職員10名(内、機関長1名)、機関部員2名、司厨員2名
派遣船員(上記の内数)	4	34	32	23	17	25	31	33	35	59	43	38	374	前年比1名減、平均年齢57.5歳、甲板職員147名、甲板部員75名、機関職員93名、機関部員22名、司厨員37名



① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は**46.8歳**(前年度46.7歳)で、ほぼ横ばい。

② 要因として、30歳未満の若年船員がここ数年各社の積極的な新卒採用により増加しているが、60歳以上船員の占める割合が減少してこないことが考えられる。

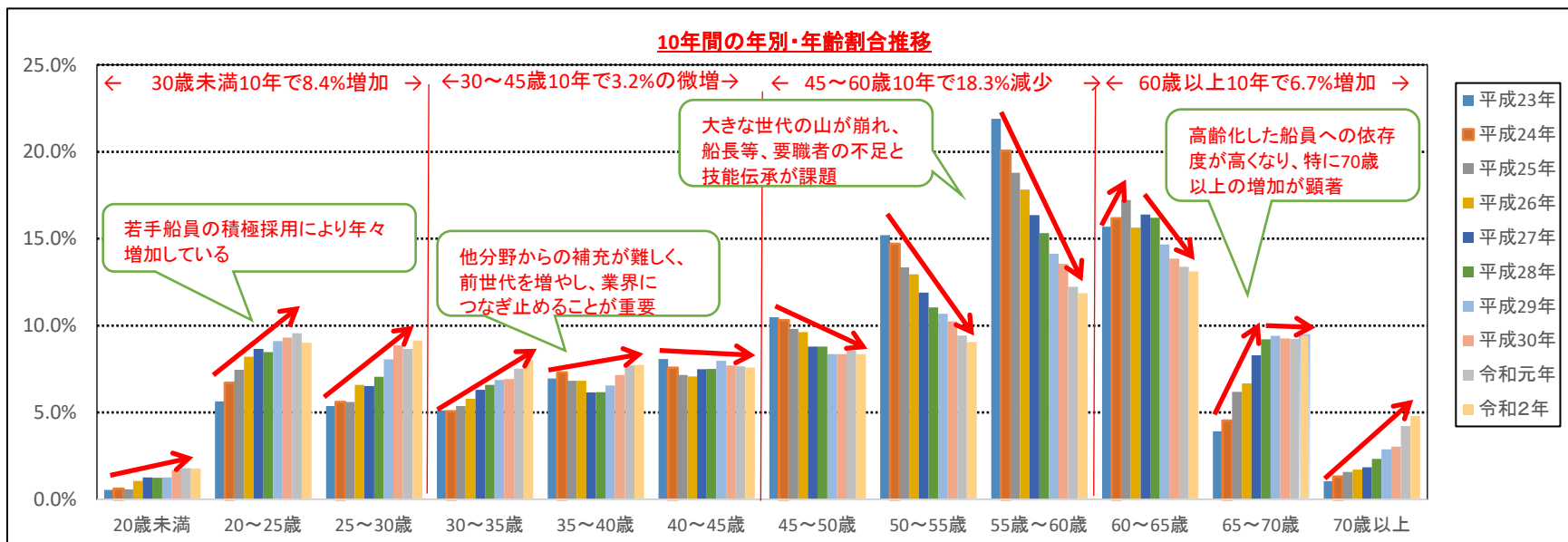
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	報告船員数
平成23年	38	385	367	349	475	551	715	1,037	1,494	1,070	268	72	6,821
平成24年	42	453	379	342	493	512	696	992	1,354	1,092	306	89	6,750
平成25年	39	495	372	356	453	475	651	885	1,246	1,142	410	105	6,629
平成26年	75	575	462	405	478	495	674	906	1,247	1,095	467	120	6,999
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
平成29年	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
平成30年	127	693	660	516	533	574	623	763	1,009	1,031	689	226	7,444
令和元年	135	719	651	566	580	576	644	709	919	1,006	694	317	7,516
令和2年	128	645	655	574	554	543	598	649	849	939	677	344	7,155
合計	860	5,872	5,123	4,546	4,938	5,396	6,484	8,376	11,434	10,802	5,472	1,791	71,094

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	合計
平成23年	0.6%	5.6%	5.4%	5.1%	7.0%	8.1%	10.5%	15.2%	21.9%	15.7%	3.9%	1.1%	100.0%
平成24年	0.6%	6.7%	5.6%	5.1%	7.3%	7.6%	10.3%	14.7%	20.1%	16.2%	4.5%	1.3%	100.0%
平成25年	0.6%	7.5%	5.6%	5.4%	6.8%	7.2%	9.8%	13.4%	18.8%	17.2%	6.2%	1.6%	100.0%
平成26年	1.1%	8.2%	6.6%	5.8%	6.8%	7.1%	9.6%	12.9%	17.8%	15.6%	6.7%	1.7%	100.0%
平成27年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%
平成28年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%
平成29年	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100.0%
平成30年	1.7%	9.3%	8.9%	6.9%	7.2%	7.7%	8.4%	10.2%	13.6%	13.9%	9.3%	3.0%	100.0%
令和元年	1.8%	9.6%	8.7%	7.5%	7.7%	7.7%	8.6%	9.4%	12.2%	13.4%	9.2%	4.2%	100.0%
令和2年	1.8%	9.0%	9.2%	8.0%	7.7%	7.6%	8.4%	9.1%	11.9%	13.1%	9.5%	4.8%	100.0%



4. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	2年度				28年度 平均年齢	29年度 平均年齢	30年度 平均年齢	元年度 平均年齢	2年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	135	474	3.5	23,644	52.3	51.8	50.5	50.1	49.9
500未満	252	1,333	5.3	65,759	51.3	51.1	50.0	49.6	49.3
750未満	150	1,002	6.7	50,041	50.6	49.5	49.1	48.8	49.9
1000未満	63	570	9.0	26,206	47.7	47.6	47.3	45.9	46.0
1600未満	14	141	10.1	5,759	44.2	44.1	44.1	41.7	40.8
3000未満	31	336	10.8	14,808	44.1	43.6	42.0	42.5	44.1
3000以上	115	1,365	11.9	56,923	42.8	42.5	41.9	42.2	41.7
合計	760	5,221	6.9	243,140	48.0	48.1	47.6	46.6	46.6

・本年度乗船中の平均年齢は前年同様46.6歳であったが、船型別にみると、200GT未満船の49.9歳に対して、3,000GT以上船は41.7歳であり、小型船／大型船では平均年齢に約8歳の開きがある。

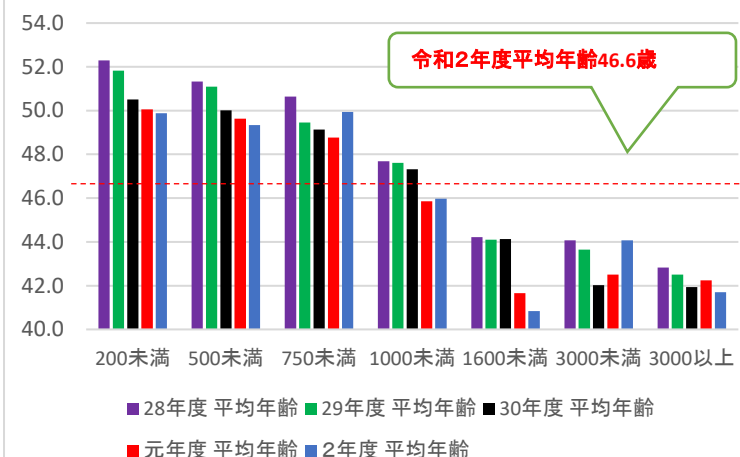
(2) 船種別平均年齢(乗船中)

	2年度				28年度 平均年齢	29年度 平均年齢	30年度 平均年齢	元年度 平均年齢	2年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	404	3,000	7.4	136,265	47.1	46.4	45.8	45.6	45.4
ケミカル船	151	882	5.8	42,681	50.6	50.3	49.5	48.3	48.4
特タン船	99	509	5.1	25,079	50.6	51.2	50.2	50.2	49.3
ガス船	106	830	7.8	39,115	48.5	48.1	47.0	46.4	47.1
合計	760	5,221	6.9	243,140	48.0207	48.1	47.6	46.6	46.6

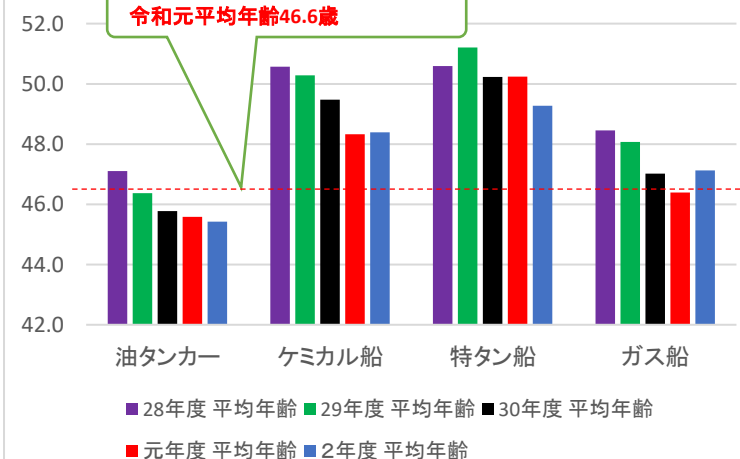
・令和2年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(45.4歳)のみ。

・ケミカル船(48.4歳)とガス船(47.1歳)は、少しずつ若返っている傾向。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



(年齢構成:船種別詳細①)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
白	200未満	0	4	16	6	7	6	15	10	15	15	11	5	110
	～500未満	0	5	11	14	7	11	10	11	18	17	22	9	135
	～750未満	0	11	16	14	20	19	23	26	25	38	26	9	227
	～1000未満	0	15	22	15	12	17	12	11	17	18	16	5	160
	～1600未満	0	3	7	3	2	5	1	2	0	1	4	1	29
	～3000未満	7	24	26	21	9	13	19	22	29	22	22	9	223
	3000以上	31	145	112	85	68	71	77	83	94	106	42	17	931
	人数	38	207	210	158	125	142	157	165	198	217	143	55	1,815
	年齢計	714	4,538	5,627	5,041	4,634	5,936	7,385	8,564	11,315	13,428	9,532	3,955	80,669
平均	18.8	21.9	26.8	31.9	37.1	41.8	47.0	51.9	57.1	61.9	66.7	71.9	44.4	
黒	200未満	1	8	16	23	23	24	31	37	16	28	15	25	247
	～500未満	1	13	28	25	29	28	31	24	40	38	31	23	311
	～750未満	0	2	6	5	4	4	3	3	7	13	9	3	59
	～1000未満	2	10	11	15	14	15	16	13	16	21	20	12	165
	～1600未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～3000未満	0	5	1	0	1	4	3	2	7	5	3	0	31
	3000以上	12	53	39	44	31	25	22	31	48	43	17	7	372
	人数	16	91	101	112	102	100	106	110	134	148	95	70	1,185
	年齢計	297	2,025	2,748	3,581	3,777	4,235	4,978	5,719	7,627	9,196	6,327	5,086	55,596
平均	18.6	22.3	27.2	32.0	37.0	42.4	47.0	52.0	56.9	62.1	66.6	72.7	46.9	
ケミカル	200未満	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	～500未満	8	33	42	35	65	66	44	61	75	95	62	40	626
	～750未満	0	15	17	11	20	11	15	24	28	28	22	5	196
	～1000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～1600未満	2	4	4	1	3	3	3	5	4	3	2	0	34
	～3000未満	1	4	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	9
	3000以上	0	1	3	3	3	0	0	2	1	0	1	0	14
	人数	11	57	67	50	92	80	63	92	109	128	87	46	882
	年齢計	207	1,278	1,806	1,613	3,411	3,350	2,944	4,787	6,242	7,921	5,805	3,317	42,681
平均	18.8	22.4	27.0	32.3	37.1	41.9	46.7	52.0	57.3	61.9	66.7	72.1	48.4	

(年齢構成:船種別詳細②)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計	
特タン	200未満	0	7	2	5	9	8	18	9	6	21	16	13	114	
	～500未満	3	11	18	19	16	12	20	22	28	33	23	13	218	
	～750未満	1	5	11	16	14	7	8	11	18	17	16	7	131	
	～1000未満	0	3	5	1	1	4	3	2	3	1	2	0	25	
	～1600未満	0	2	0	0	0	1	0	1	1	1	4	0	10	
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3000以上	1	2	2	2	1	0	0	1	0	2	0	0	11	
	人数	5	30	38	43	41	32	49	46	56	56	75	61	33	509
	年齢計	95	669	1,034	1,368	1,527	1,347	2,312	2,404	3,212	4,643	4,071	2,397	25,079	
	平均	19.0	22.3	27.2	31.8	37.2	42.1	47.2	52.3	57.4	61.9	66.7	72.6	49.3	
ガス	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	～500未満	0	0	1	1	3	4	7	5	9	8	4	1	43	
	～750未満	2	16	29	23	22	25	31	32	66	78	40	25	389	
	～1000未満	7	28	17	18	20	20	12	17	20	29	27	5	220	
	～1600未満	2	18	6	5	9	6	1	3	8	8	2	0	68	
	～3000未満	0	18	10	9	4	2	5	3	10	8	3	1	73	
	3000以上	0	3	11	5	3	2	3	4	3	2	1	0	37	
	人数	11	83	74	61	61	59	59	64	116	133	77	32	830	
	年齢計	206	1,823	1,991	1,959	2,262	2,494	2,765	3,345	6,611	8,231	5,116	2,312	39,115	
	平均	18.7	22.0	26.9	32.1	37.1	42.3	46.9	52.3	57.0	61.9	66.4	72.3	47.1	
合計	200未満	1	19	34	34	39	38	65	56	37	65	42	44	474	
	～500未満	12	62	100	94	120	121	112	123	170	191	142	86	1,333	
	～750未満	3	49	79	69	80	66	80	96	144	174	113	49	1,002	
	～1000未満	9	56	55	49	47	56	43	43	56	69	65	22	570	
	～1600未満	4	27	17	9	14	15	5	11	13	13	12	1	141	
	～3000未満	8	51	38	30	15	19	27	27	47	36	28	10	336	
	3000以上	44	204	167	139	106	98	102	121	146	153	61	24	1,365	
	人数	81	468	490	424	421	413	434	477	613	701	463	236	5,221	
	年齢計	1,519	10,333	13,206	13,562	15,611	17,362	20,384	24,819	35,007	43,419	30,851	17,067	243,140	
	平均	18.8	22.1	27.0	32.0	37.1	42.0	47.0	52.0	57.1	61.9	66.6	72.3	46.6	

5. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,032	58,084	56.3
一航士	914	42,955	47.0
次席一航士	227	10,016	44.1
二航士	769	35,161	45.7
三航士	239	8,469	35.4
小計	3,181	154,685	48.6
甲板長	241	12,599	52.3
甲板手	468	17,631	37.7
甲板員	476	17,025	35.8
見習い	9	255	28.3
司厨員	434	23,109	53.2
小計	1,628	70,619	43.4
機関長	1,005	54,654	54.4
一機士	711	32,764	46.1
次席一機士	74	3,115	42.1
二機士	211	7,724	36.6
三機士	31	792	25.5
小計	2,032	99,049	48.7
操機長	28	1,102	39.4
操機手	43	1,174	27.3
機関員	236	7,748	32.8
見習い	7	192	27.4
小計	314	10,216	32.5
合計	7,155	334,569	46.8

(職種別平均年齢の前年対比)

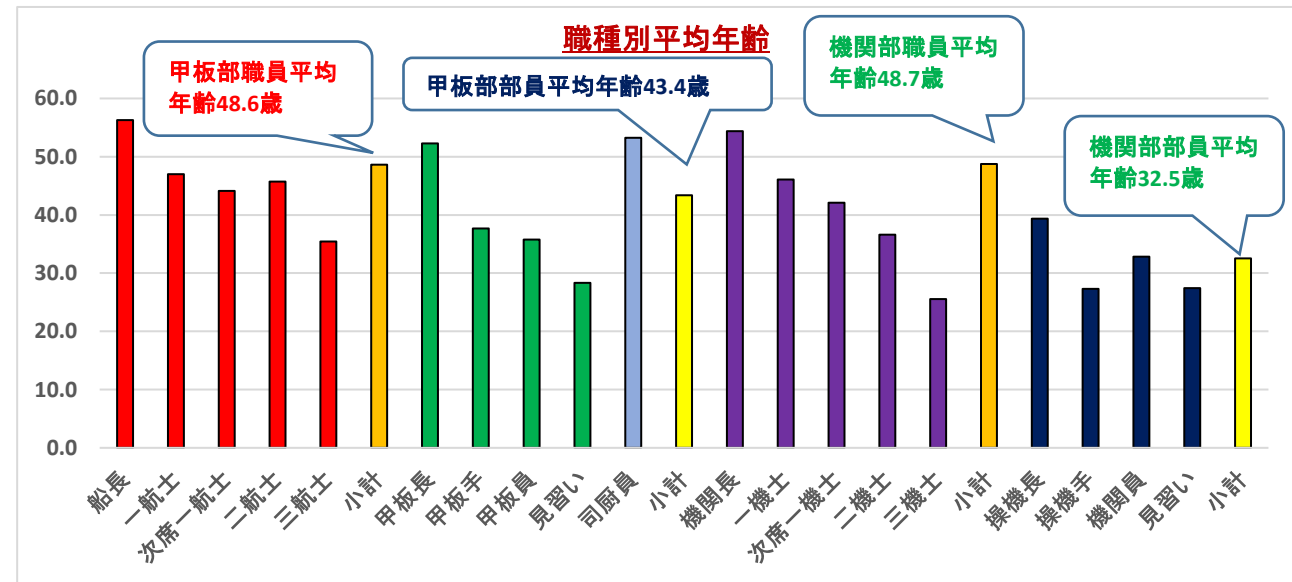
職種	R2年度	R元年度	対比
甲板部職員	48.6	48.6	0.1
部員	43.4	43.0	0.4
機関部職員	48.7	49.1	-0.4
部員	32.5	30.8	1.7

(2) 航海/機関別

(註)本表中、司厨員は甲板部員に参入

R2年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,181	154,685	48.6
	部員	1,628	70,619	43.4
	小計	4,809	225,304	46.9
機関部	職員	2,032	99,049	48.7
	部員	314	10,216	32.5
	小計	2,346	109,265	46.6
合計		7,155	334,569	46.8

R元年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,351	162,760	48.6
	部員	1,740	74,772	43.0
	小計	5,091	237,532	46.7
機関部	職員	2,087	102,550	49.1
	部員	314	9,683	30.8
	小計	2,401	112,233	46.7
合計		7,492	349,765	46.7



・令和2年度の職種毎の平均年齢は上表のとおりである。

・前年度平均年齢と比較すると、甲板部職員は±0歳、甲板部部員は+0.4歳、機関部職員は△0.4歳、機関部部員は+1.7歳。

6. 入社歴及び前職

(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

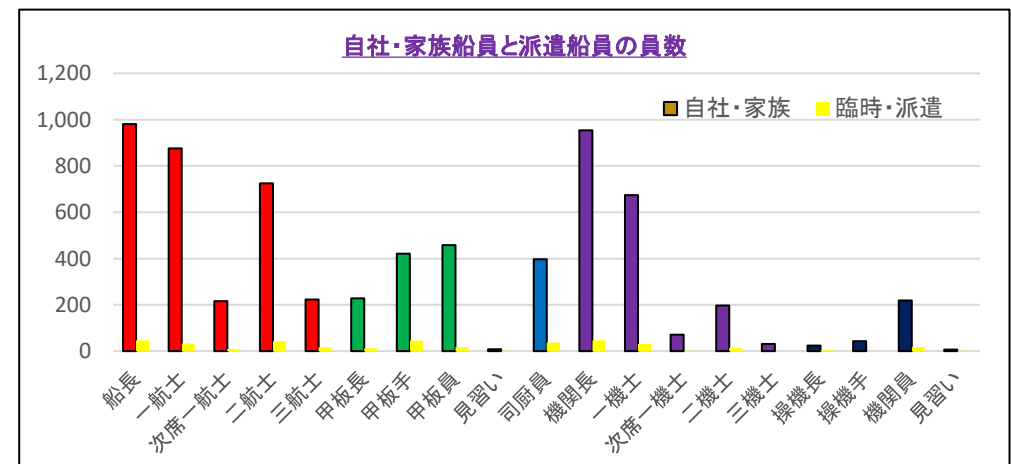
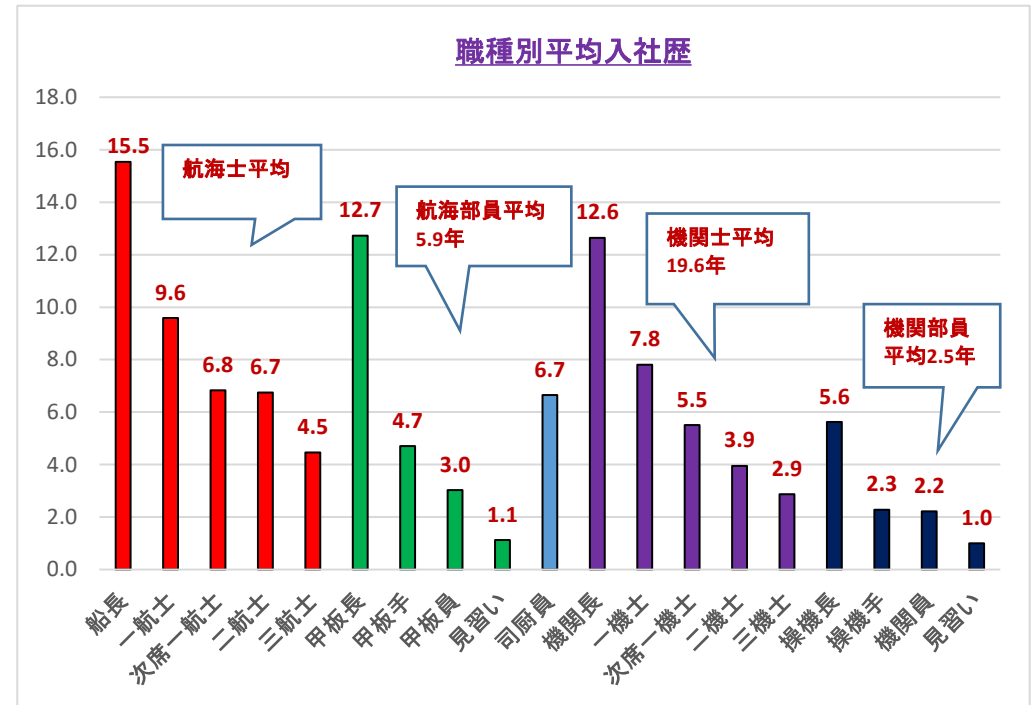
	船員数	内訳 (*1)			平均入社歴
		自社・家族	臨時・派遣	入社歴計	
船長	1,032	981	47	15,241	15.5
一航士	914	876	33	8,398	9.6
次席一航士	227	216	9	1,476	6.8
二航士	769	725	42	4,891	6.7
三航士	239	223	16	995	4.5
小計	3,181	3,021	147	31,001	10.3
甲板長	241	228	12	2,901	12.7
甲板手	468	421	45	1,981	4.7
甲板員	476	458	17	1,387	3.0
見習い	9	8	1	9	1.1
司厨員	434	397	37	2,641	6.7
小計	1,628	1,512	112	8,919	5.9
機関長	1,005	954	46	12,059	12.6
一機士	711	674	32	5,261	7.8
次席一機士	74	71	1	391	5.5
二機士	211	197	14	778	3.9
三機士	31	31	0	89	2.9
小計	2,032	1,927	93	18,578	9.6
操機長	28	24	4	135	5.6
操機手	43	43	0	98	2.3
機関員	236	219	17	486	2.2
見習い	7	6	1	6	1.0
小計	314	292	22	725	2.5
合計	7,155	6,752	374	59,222	8.8

(*2)

(*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

(*2): 内訳欄の数は、一部未記入(29名分)があったため合計数とは一致しない。

・自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、**自社・家族94.7%**(前年度95.0%)、**臨時・派遣5.3%**(前年度5.0%)で、臨時・派遣船員割合は微増した。



(2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	69	27	380	194	60	28	57	13	86	80	38	1,032
一航士	123	26	289	156	53	25	43	2	68	101	28	914
次席一航士	26	4	77	25	19	6	19	1	17	28	5	227
二航士	126	11	204	129	44	15	63	5	45	101	26	769
三航士	96	3	49	11	6	3	21	2	9	32	7	239
小計	440	71	999	515	182	77	203	23	225	342	104	3,181
割合	13.8%	2.2%	31.4%	16.2%	5.7%	2.4%	6.4%	0.7%	7.1%	10.8%	3.3%	100%
甲板長	29	12	67	23	6	3	14	1	32	46	8	241
甲板手	144	12	106	9	6	3	23	2	36	107	20	468
甲板員	97	37	63	12	7	2	14	1	38	194	11	476
見習い	0	3	1	1	0	0	1	0	0	2	1	9
司厨員	23	3	110	14	25	1	29	4	8	203	14	434
小計	293	67	347	59	44	9	81	8	114	552	54	1,628
割合	18.0%	4.1%	21.3%	3.6%	2.7%	0.6%	5.0%	0.5%	7.0%	33.9%	3.3%	100.0%
機関長	75	15	357	160	49	23	65	18	97	105	41	1,005
一機士	98	14	219	101	46	7	50	3	48	105	20	711
次席一機士	4	2	22	6	8	1	3	0	8	16	4	74
二機士	76	2	42	7	5	0	12	2	16	42	7	211
三機士	21	1	3	0	0	0	2	0	0	3	1	31
小計	274	34	643	274	108	31	132	23	169	271	73	2,032
割合	13.5%	1.7%	31.6%	13.5%	5.3%	1.5%	6.5%	1.1%	8.3%	13.3%	26.9%	100%
操機長	4	2	3	4	0	0	2	0	2	9	2	28
操機手	30	0	3	2	0	0	0	0	1	7	0	43
機関員	49	22	28	16	4	0	4	0	9	94	10	236
見習い	2	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	7
小計	85	25	34	23	4	0	7	0	12	112	12	314
総計	1,092	197	2,023	871	338	117	423	54	520	1,277	243	7,155
割合	15.3%	2.8%	28.3%	12.2%	4.7%	1.6%	5.9%	0.8%	7.3%	17.8%	3.4%	100%

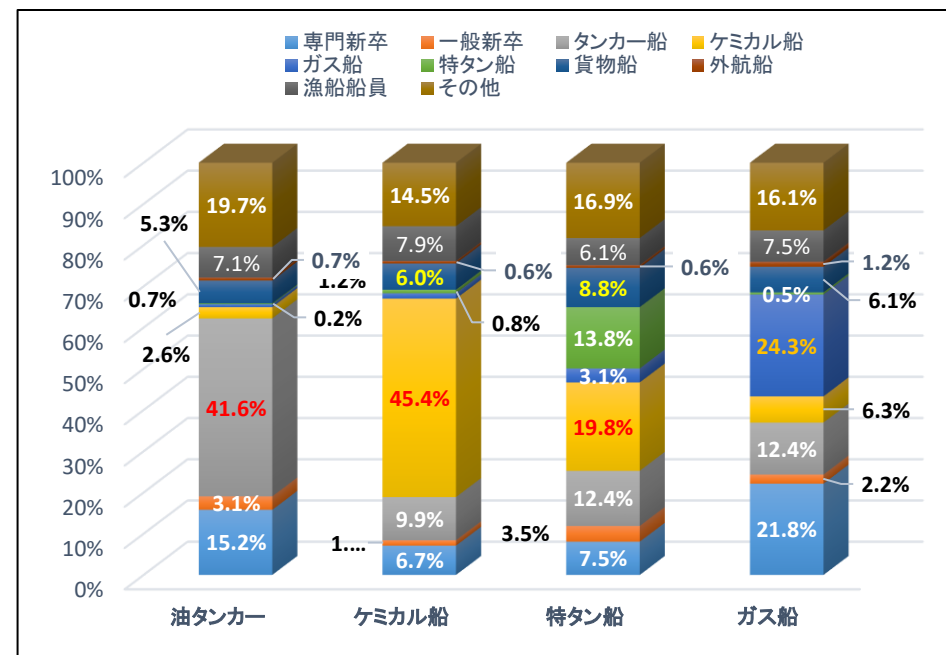
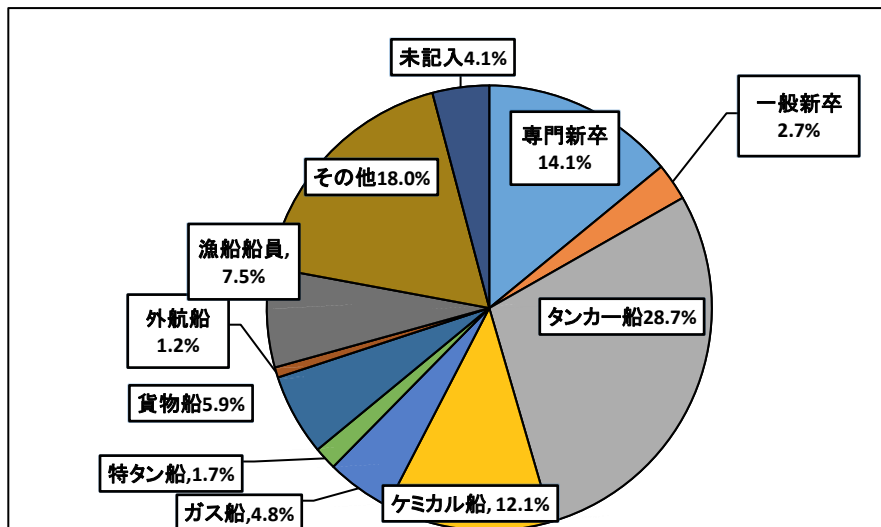
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、タンカー経験者28.3%、その他17.8%、専門学校新卒者が15.3%、ケミカル船が12.2%、漁船が7.3%、貨物船が5.9%となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	456	94	1,247	79	20	6	160	21	214	590	113	3,000
ケミカル船	59	11	87	400	11	7	53	5	70	128	51	882
特タン船	38	18	63	101	16	70	45	3	31	86	38	509
ガス船	181	18	103	52	202	4	51	10	62	134	13	830
合計	734	141	1,500	632	249	87	309	39	377	938	215	5,221
比率	14.1%	2.7%	28.7%	12.1%	4.8%	1.7%	5.9%	0.7%	7.2%	18.0%	4.1%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	15.2%	3.1%	41.6%	2.6%	0.7%	0.2%	5.3%	0.7%	7.1%	19.7%
ケミカル船	6.7%	1.2%	9.9%	45.4%	1.2%	0.8%	6.0%	0.6%	7.9%	14.5%
特タン船	7.5%	3.5%	12.4%	19.8%	3.1%	13.8%	8.8%	0.6%	6.1%	16.9%
ガス船	21.8%	2.2%	12.4%	6.3%	24.3%	0.5%	6.1%	1.2%	7.5%	16.1%



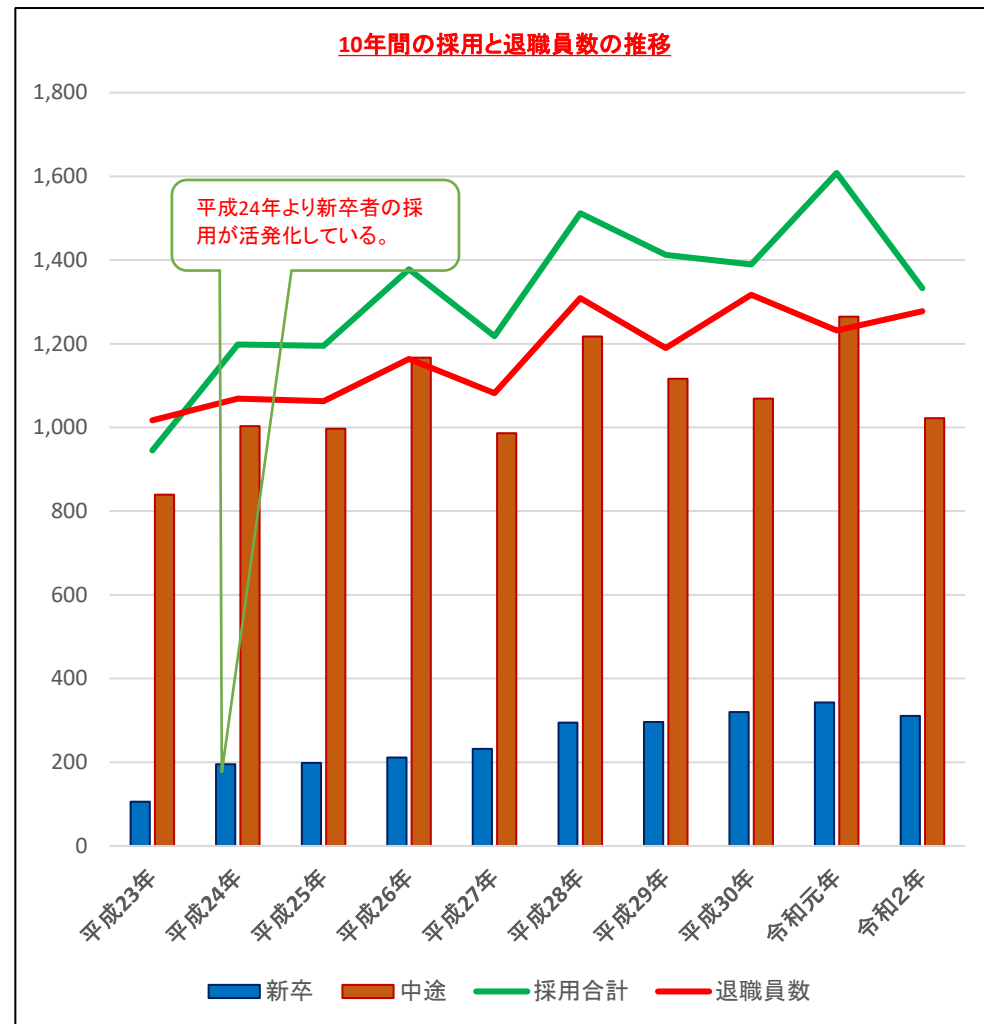
※油タンカー、ケミカル船は、同じ船種に戻る割合が高く、ガス船もやや低いと同じ傾向。

※特タン船は、ケミカル船からの転職者が、特タン船からの転職者を上回っている。

7. 採用・退職関係

(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数 - 退職員数
平成23年	106	839	945	1,017	-72
平成24年	195	1003	1,198	1,069	129
平成25年	198	997	1,195	1,063	132
平成26年	211	1167	1,378	1,164	214
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
平成29年	296	1,116	1,412	1,190	222
平成30年	320	1,069	1,389	1,317	72
令和元年	343	1,265	1,608	1,232	376
令和2年	311	1,022	1,333	1,278	55
合計	2,507	10,681	13,188	11,721	1,467



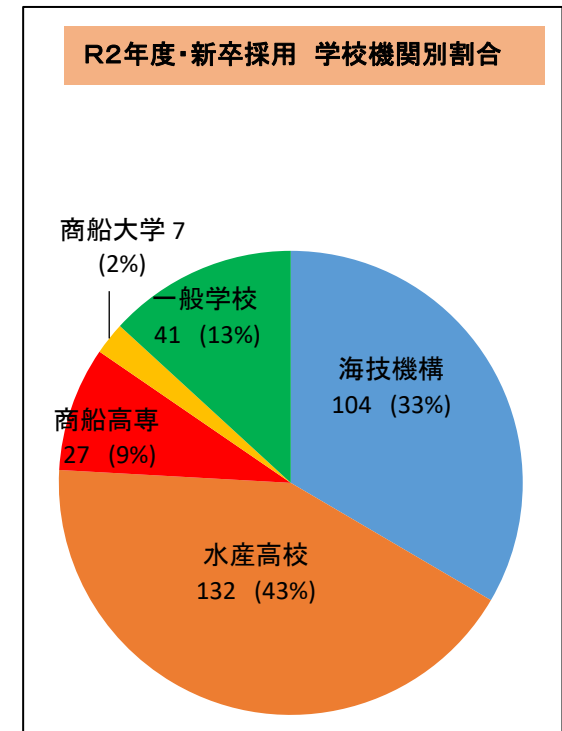
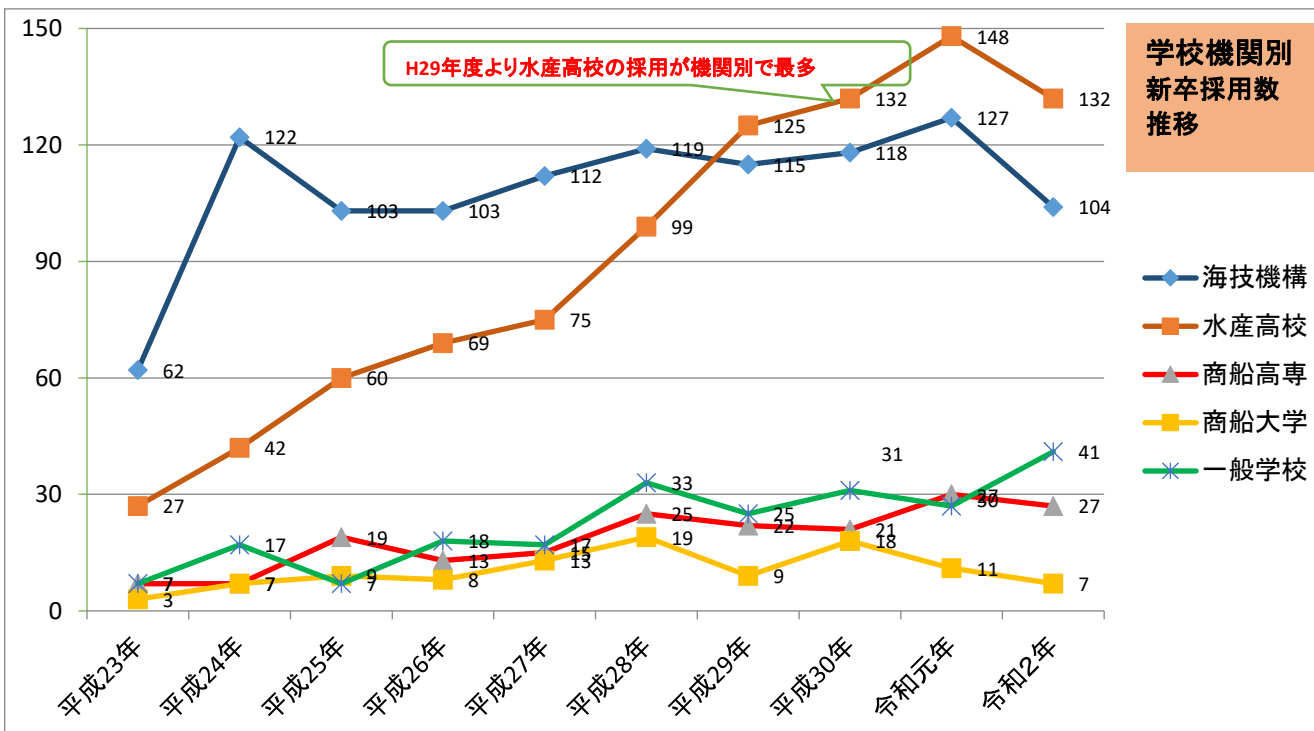
※採用人数13,188名の内、中途採用者は10,681名と全体の81.0%を占めている。

(2)新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳(10年間)

	新卒						中途			合計
	海技機構	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成23年	62	27	7	3	7	106	765	74	839	945
平成24年	122	42	7	7	17	195	904	99	1,003	1,198
平成25年	103	60	19	9	7	198	897	100	997	1,195
平成26年	103	69	13	8	18	211	1,008	159	1,167	1,378
平成27年	112	75	15	13	17	232	830	156	986	1,218
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
平成29年	115	125	22	9	25	296	884	232	1,116	1,412
平成30年	118	132	21	18	31	320	872	197	1,069	1,389
令和元年	127	148	30	11	27	343	1,024	241	1,265	1,608
令和2年	104	132	27	7	41	311	833	189	1,022	1,333
合計	1,085	909	186	104	223	2,507	9,002	1,679	10,681	13,188
	43.3%	36.3%	7.4%	4.1%	8.9%	100.0%	84.3%	15.7%	100.0%	

(※1)教育機関別の新卒採用数は、10年間合計では、海技学校・短大が43.3%と最多だが、平成29年度より水産高校生の採用数が最多となった。

(※2)水産高校採用数132名の内訳
専攻科41名、本科91名 (R2年)



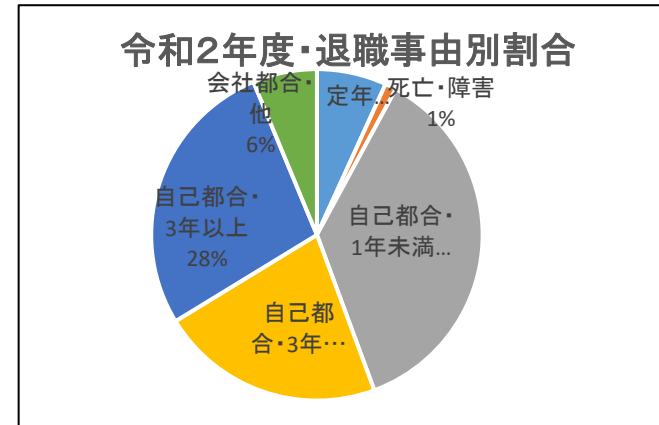
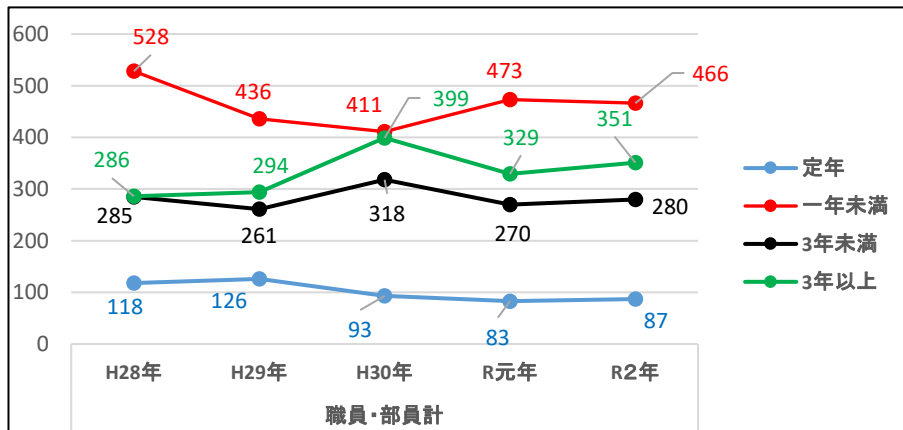
(3) 令和2年度退職状況

	職 員				部 員				職・部員合計					
	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	比率	
定年	34	29	1	64	11	1	11	23	45	30	12	87	6.8%	
死亡・障害	7	0	0	7	3	3	1	7	10	3	1	14	1.1%	
自己都合	一年未満	126	119	2	247	130	46	43	219	256	165	45	466	36.5%
	3年未満	105	63	1	169	69	22	20	111	174	85	21	280	21.9%
	3年以上	159	101	7	267	60	5	19	84	219	106	26	351	27.5%
会社都合・他	一年未満	15	4	1	20	9	8	3	20	24	12	4	40	3.1%
	3年未満	8	4	0	12	0	1	1	2	8	5	1	14	1.1%
	3年以上	9	10	0	19	4	1	2	7	13	11	2	26	2.0%
計		463	330	12	805	286	87	100	473	749	417	112	1,278	100.0%

(4) 平成28～令和2年在籍期間対比(5年間)

(会社都合は除く)

	職員・部員計					計	%
	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年		
定年	118	126	93	83	87	507	8.6%
一年未満	528	436	411	473	466	2,314	39.3%
3年未満	285	261	318	270	280	1,414	24.0%
3年以上	286	294	399	329	351	1,659	28.1%
計	1,217	1,117	1,221	1,155	1,184	5,894	100.0%



令和2年度・退職者比率(自己都合)

- ※一年未満36%
- ※一年以上3年未満22%
- ※3年以上28%

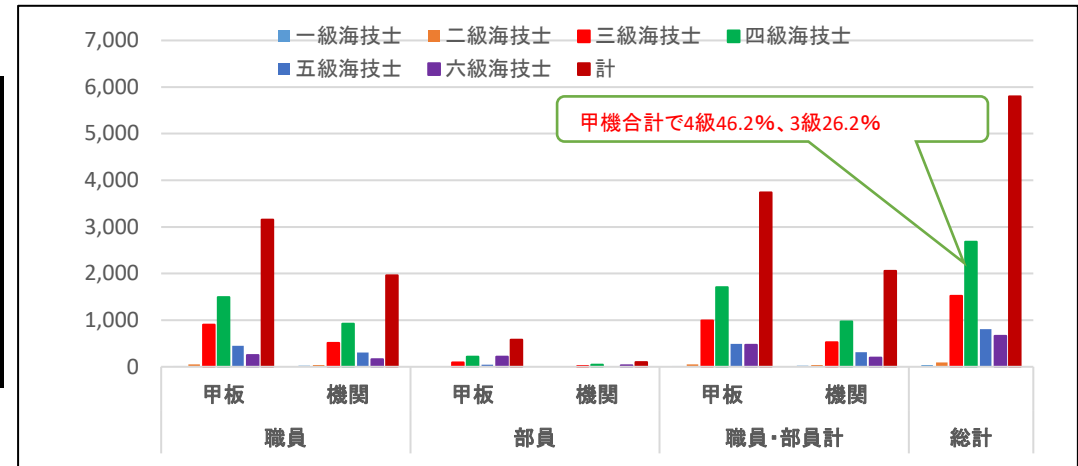
(5年間統計)

※0～3年未満での自己都合退職者割合は、5年間高止まり傾向 (67→62→60→64→63%)

8. 海技免状保有状況

①甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	15	23	0	1	15	24	39	0.7%
二級海技士	51	37	2	0	53	37	90	1.6%
三級海技士	902	509	94	14	996	523	1,519	26.2%
四級海技士	1,491	924	219	45	1,710	969	2,679	46.2%
五級海技士	449	304	45	8	494	312	806	13.9%
六級海技士	250	162	220	33	470	195	665	11.5%
計	3,158	1,959	580	101	3,738	2,060	5,798	100.0%



②年齢別保有数

イ)航海士

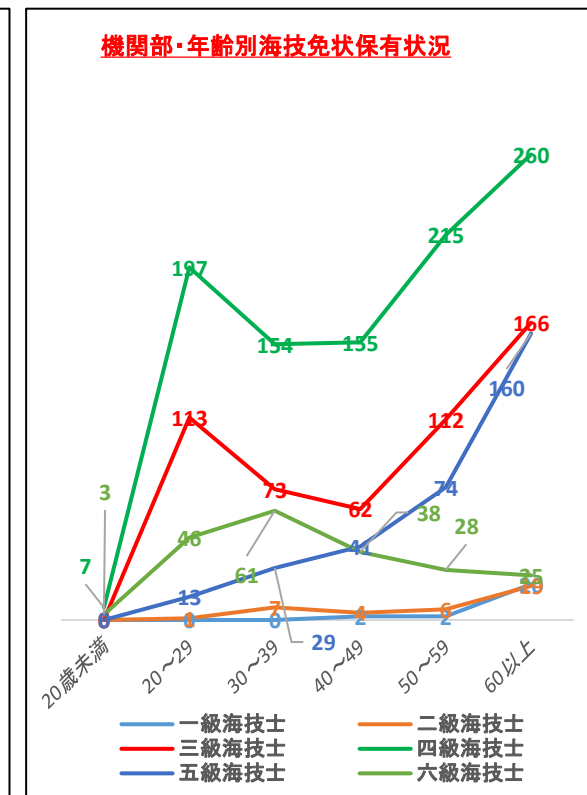
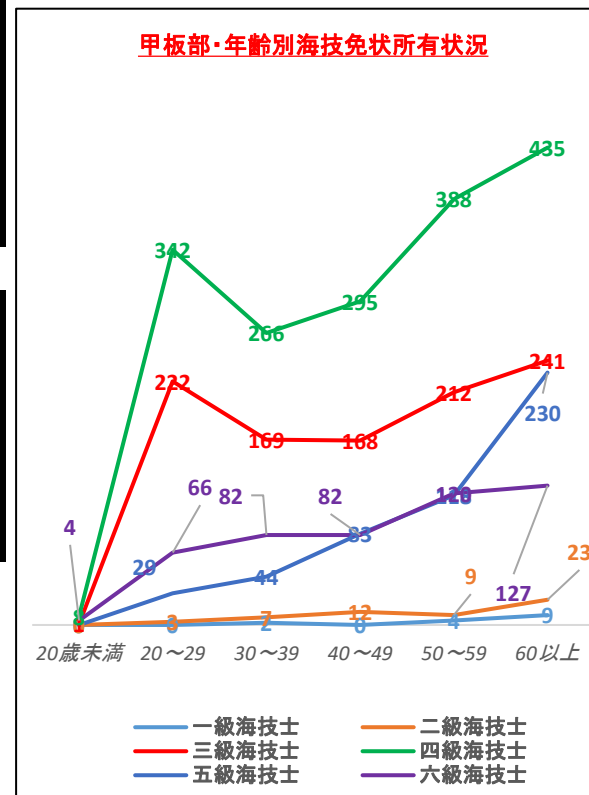
	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	2	0	4	9	15
二級海技士	0	3	7	12	9	23	54
三級海技士	1	222	169	168	212	241	1,013
四級海技士	8	342	266	295	388	435	1,734
五級海技士	0	29	44	83	118	230	504
六級海技士	4	66	82	82	120	127	481
計	13	662	570	640	851	1,065	3,801

ロ)機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	0	2	2	20	24
二級海技士	0	1	7	4	6	19	37
三級海技士	0	113	73	62	112	166	526
四級海技士	7	197	154	155	215	260	988
五級海技士	0	13	29	41	74	160	317
六級海技士	3	46	61	38	28	25	201
計	10	370	324	302	437	650	2,093

※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板481名に対し機関201名と少ない。



9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	200	57	257	77.8%
下船中	86	24	110	78.2%
計	286	81	367	77.9%

※未回答、又は甲板・機関免状を記載した回答は集計除外(67名)

10. 船員不足の考察

① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
28	188	622	3.3	257	1,338	5.2	166	1,105	6.7	66	602	9.1	17	174	10.2	40	429	10.7	115	1,315	11.4	849	5,585	6.6
29	165	575	3.5	248	1,320	5.3	164	1,101	6.7	70	620	8.9	16	158	9.9	40	443	11.1	116	1,356	11.7	819	5,573	6.8
30	159	548	3.4	270	1,438	5.3	156	1,069	6.9	69	613	8.9	14	141	10.1	35	380	10.9	110	1,272	11.6	813	5,461	6.7
元	168	577	3.4	271	1,427	5.3	146	1,013	6.9	65	582	9.0	13	133	10.2	33	353	10.7	118	1,364	11.6	814	5,449	6.7
2	135	474	3.5	252	1,333	5.3	150	1,002	6.7	63	570	9.0	14	141	10.1	31	336	10.8	115	1,365	11.9	760	5,221	6.9
計	815	2,796	3.4	1,298	6,856	5.3	782	5,290	6.8	333	2,987	9.0	74	747	10.1	179	1,941	10.8	574	6,672	11.6	4,055	27,289	6.7

※ 令和2年度の平均乗員数は、全体的には前年や5年間平均員数を上回っているものの、前年より乗員数が下回っている船型(750GT、1,600GT)も見受けられる。

② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
28	5,585	1,997	7,582	1.36
29	5,573	1,948	7,521	1.35
30	5,461	1,983	7,444	1.36
元	5,449	2,068	7,517	1.38
2	5,221	1,934	7,155	1.37
計	27,289	9,930	37,219	1.36

※予備員率は5年間平均で1.36、
2年度は1.37で、平均を若干上回る。

③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
28	7,578	7,248	330	4.4%
29	7,521	7,185	336	4.5%
30	7,444	7,060	384	5.2%
元	7,517	7,142	375	5.0%
2	7,155	6,752	374	5.2%
計	37,215	35,387	1,799	4.8%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で4.8%、
2年度は5.2%で、平均を若干上回る。

④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
28	119	115	88	8	330	62.7%
29	120	114	89	13	336	62.2%
30	159	112	100	13	384	67.4%
元	145	113	103	14	375	66.1%
2	147	112	93	22	374	64.2%
計	690	566	473	70	1,799	64.6%
割合	38.4%	31.5%	26.3%	3.9%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば約8割以上。

(考察)

1. 安全最小定員数と実乗船員数

船員法等を遵守する最小船員数は、航海時間16時間超500トン未満の法定定員は、航海士2名+1名(航海当直要員)、機関士2名の計5名となる。さらに着離棧、荷役作業を考慮すると最低6名は必要となる。500トン未満船の5年間平均での実乗船員数は5.3名となっており、ギリギリの員数で運航している船舶が多数あるものと推測される。

2. 予備員数

令和2年度の予備員率は上表のとおり1.37(5年間平均1.36)である。年間休日110日(休暇105+乗下船5)を付与するための理想の予備員率を1.43として逆算すると約310名が不足していることとなる。また、この値を推計船員数9,248名(乗船中6,748名、下船中2,500名)で置き換えると、約400名の不足となる。

3. 臨時・派遣船員

令和2年度は、374名の船員が派遣され、特に、甲・機職員への派遣が6割以上を占めている。言い換えれば、374名の船員が自社で賄えない不足した船員と捉えることも出来、今後は、退職船員の増加により派遣船員の供給不足も考えられ、停船を余儀なくされる船舶が増加することが危惧される。

4. 船員不足への対応

船員の働き方改革により労働時間の管理や罰則規程が法制化され、より厳格な労働時間や休日の管理が行われることにより、船員不足の傾向がより顕著に表れることも危惧される。今後の石油等の需要と船舶とのバランスの問題もあるが、今後1~2年は船員問題も新たな課題への対応が必要となってくる。

11. 船員対策委員会からの提言

- (1) 小型船の船員確保対策は、船主、オペレーターが協力して実施する必要がある。
- (2) ベテラン船員の多数退職によりレベル低下が懸念され、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (3) 新卒者の積極的な採用と併行して、若年船員の退職防止と業界内へのつなぎとめ対策を図る必要がある。
- (4) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (5) 小型船等において高齢船員への依存傾向が続いている中、安全確保のため労務の見直しや軽減策に配慮する必要がある。
- (6) SO_x規制による新燃料油の使用や暫定措置事業終了による建造方式の変更により、業界環境も大きな変わり目を迎えている中、船舶の技術革新を今以上に進める必要がある。
- (7) 国土交通省で検討され法制化された「内航船員の働き方改革」については、内航業界及び事業者の積極的な対応により船員の働き方改革を推進し、事業者だけで対応出来ない問題に関しては、荷主や行政への理解、協力を求める必要がある。

以上